

公表用

助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	情報バリアフリー役務提供事業推進助成金
助成対象事業名	スポーツならびにイベント会場に対応したリアルタイム実況可視化環境の提供
助成対象事業者名	株式会社リコー
助成金の額	9,114千円

【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	聴覚障害者向けコミュニケーションサービス「Pekoe(ペコ)」を活用し、スポーツ会場におけるリアルタイム実況可視化環境の構築・実証・評価を実施した。 Pekoe は音声認識技術を用いて会場音声をリアルタイムに文字化し、スマートフォン・タブレット・スマートグラスなどに配信するサービスである。専門知識を持つ修正者(人)が介在し、誤認識の修正や適切な要約・編集を行うことで、正確性と臨場感を両立する。
②	助成対象事業の目標	・目標 1: 実況可視化技術の実証 会場音声のリアルタイム文字化と表示デバイス(スマートフォン・タブレット・スマートグラス)による情報提供の技術的実現性を検証 ・目標 2: ユーザー評価に基づく技術改善 聴覚障害当事者の利用を通じた UX 課題の特定と反復的改善 ・目標 3: 持続可能な事業モデルの検討 ボランティアに依存しない継続的なサービス提供体制と収益モデルの方向性の提示

【令和 7 年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	事業期間: 2025 年 7 月～2026 年 3 月(9 か月間) 以下の 3 フェーズで実施: ・第 1 フェーズ(2025 年 8～9 月): Pekoe によるバレーボール実況のリアルタイム文字配信の技術検証 ・第 2 フェーズ(2025 年 9 月～2026 年 1 月): スマートグラス対応アプリ開発、辞書整備、多競技展開 ・第 3 フェーズ(2026 年 1～3 月): 改善版による総合実証実験、ユーザー評価、事業モデル検討
---	-------------	---

		計 10 回の実証実験を実施(ラグビー5 試合、バレーボール 2 試合、デフリンピック競技 2 試合、体験会 1 回)。競技種別・会場・表示デバイスの組み合わせを段階的に拡大し、多様な条件下での有効性を検証した。
④	助成対象事業の成果	・技術的成果:Pekoe によるリアルタイム実況可視化とスマートグラス対応アプリの開発・改善を実現 ・ユーザー評価:Pekoe 全体の満足度 100% (「とても良かった」「良かった」の合計)、スマートグラス評価 86% (使用者 7 名中 6 名が「良かった」以上) ・課題の解決:6 件の課題のうち 4 件が解決済、1 件が改善中、1 件が中長期課題として整理 ・事業化の方向性:スポンサーモデル・アクセシビリティパートナー構想、短期・中期・長期ロードマップを策定できるよう検討中
⑤	補足説明事項	